



第62回秋田県消防操法大会

消防秋田

題 字
初代会長 松野盛吉

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

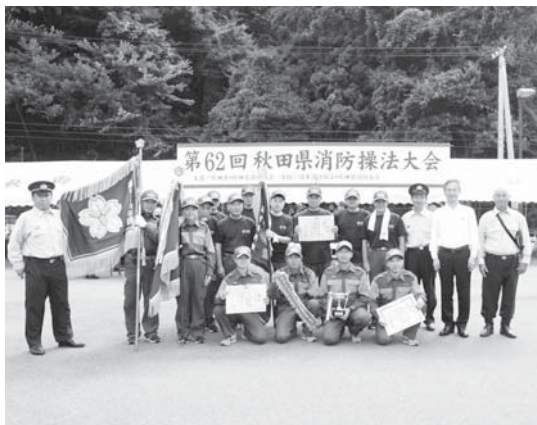
第62回秋田県消防操法大会は8月23日(土)、秋田県消防学校(由利本荘市)において行われました。

開会式では、神部秀行秋田県副知事による主催者あいさつ、工藤嘉範秋田県議会議長の来賓祝辞、木内英明秋田県消防学校長から審査長指示があり、能代市消防団第6分団幸坂剛分団長が選手宣誓を行いました。

競技では、小型ポンプ操法の部に9分団、ポンプ車操法の部に5分団、軽可搬ポンプ操法の部に2隊が出場し、日頃の訓練の成果を競いました。

その結果、小型ポンプ操法の部で美郷町消防団第2分団、ポンプ車操法の部で能代市消防団第6分団、軽可搬ポンプ操法の部で大仙市女性消防隊が優勝に輝きました。

大仙市女性消防隊は、10月に横浜市で開催される全国大会に出場します。



美郷町消防団第2分団



大仙市女性消防隊



能代市消防団第6分団

2025年度全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

第62回秋田県消防操法大会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順 位	出 場 団 名	タイム(秒)	総得点(点)
優 勝	美郷町消防団第 2 分団	41.84	93.5
第 2 位	三種町消防団第 5 分団	41.45	92.5
第 3 位	横手市消防団十文字支団第 3 分団	42.29	90.0
優秀賞	小坂町消防団第 4 分団	42.74	90.0
	秋田市消防団河辺第 3 分団	41.61	87.5
	にかほ市消防団第 6 分団	46.32	83.0
	湯沢市消防団川連分団	45.56	82.5
	潟上市消防団昭和支団第 7 分団	44.70	73.5
	北秋田市消防団第 10 分団	49.22	65.5

【軽可搬ポンプ操法の部】

順 位	出 場 隊 名	タイム (秒)	総得点 (点)
優 勝	大仙市女性消防隊	51.44	99.0
第 2 位	潟上市女性消防隊	52.41	98.0

【ポンプ車操法の部】

順 位	出 場 団 名	タイム (秒)		総得点 (点)
		第 1 線	第 2 線	
優 勝	能代市消防団第 6 分団	54.69	67.60	178.0
第 2 位	小坂町消防団第 4 分団	53.56	64.48	173.0
第 3 位	秋田市消防団城東分団	59.05	73.83	153.0
優秀賞	由利本荘市消防団鳥海分団	57.10	72.70	146.5
	大館市消防団第 13 分団	59.20	65.05	140.5



【優秀選手】

小型ポンプ操法			ポンプ車操法			軽可搬ポンプ操法		
出場団名	操作員	氏 名	出場団名	操作員	氏 名	出場団名	操作員	氏 名
秋田市消防団河辺第 3 分団	指揮者	加藤 光昭	秋田市消防団城東分団	指揮者	藤井 瑛昌	大仙市女性消防隊	指揮者	片岡由美子
美郷町消防団第 2 分団	指揮者	佐藤 慎	能代市消防団第 6 分団	1 番員	大倉 俊文	潟上市女性消防隊	指揮者	佐々木郁実
美郷町消防団第 2 分団	1 番員	樫尾 一貴	能代市消防団第 6 分団	2 番員	齊藤 穂高	大仙市女性消防隊	1 番員	相馬 静華
三種町消防団第 5 分団	2 番員	大出 拓磨	小坂町消防団第 4 分団	2 番員	福田 浩士	潟上市女性消防隊	1 番員	金澤 愛
秋田市消防団河辺第 3 分団	2 番員	佐々木光幸	能代市消防団第 6 分団	3 番員	丹波 卓美	大仙市女性消防隊	2 番員	今野ひろみ
小坂町消防団第 4 分団	2 番員	赤川 和也	能代市消防団第 6 分団	4 番員	幸坂 義明	潟上市女性消防隊	2 番員	大関永優美
三種町消防団第 5 分団	3 番員	信太 良行	秋田市消防団城東分団	4 番員	石郷岡 進	大仙市女性消防隊	3 番員	佐藤 久子
美郷町消防団第 2 分団	3 番員	出茂 彰真				潟上市女性消防隊	3 番員	青木 久美
小坂町消防団第 4 分団	3 番員	亀田 稔				大仙市女性消防隊	4 番員	一色 順子
						潟上市女性消防隊	4 番員	安田さおり

競技審査の講評

◎大会審査班長

秋田県消防学校 草 薨 聡

■総 合

昨年から見直しされた開会式の時間短縮やサポート隊が定着し、円滑かつ効率的な大会進行となりました。関係者皆様のご協力に感謝申し上げます。競技では、規律、節度、タイム等、日頃積み重ねてきた訓練の成果が存分に発揮された大会とな

りました。横浜市で開催される全国大会に出場する大仙市女性消防隊のご健闘を祈念いたします。

■小型ポンプ操法の部

各チームが、規律、節度を十分に意識しており、大会のレベルの高さを感じました。課題として、ホースラインの蛇行が目立ちました。スピードと基本動作の両立を意識し、さらに精度の高い操法を目指していただきたいと思います。

■ポンプ車操法の部

士気、敏しように性は高いものの、

昨年よりもタイムが若干遅くなっています。一部で規定外圧力の送水や注水姿勢の不安定が見られ、送水による差が得点差につながったと感じます。安全確実な操法を目指した訓練をお願いします。

■軽可搬ポンプ車操法の部

2 隊とも高い士気と規律を持って競技に臨まれ、僅かなタイム差が得点差となりました。さらなるスピードと確実性の両立を目標に全国大会での上位入賞を期待しております。

災害の防止と消防活動の安全を誓う

令和7年度殉職消防職・団員慰霊祭

令和7年度(第98回)殉職消防職・団員慰霊祭が、9月5日(金)秋田市千秋公園の八幡秋田神社で行われ、遺族16名のほか、来賓、消防協会役員など約50名が参列しました。

神事の後、高橋正尚秋田県消防協会会長が、「昨年7月、横手市で訓練中に殉職された横手市消防団柴田忠広様が新たに合祀されることになりました。ここに合祀されている48柱の御霊が不屈の消防魂で職責を全うされたその崇高な精神は、県内消防人

の鑑であり、我々消防人は、地域住民の安全・安心のため最善を尽くすことを誓います。」と祭主祭文を奏上しました。

来賓を代表して神部秀行 秋田県副知事が、「志半ばで殉職された無念や、最愛の御家族を失われた皆様の深い悲しみを察いたしますと、悲痛の思いを禁じ得ません。改めて、殉職された方々に敬意と感謝を表し、御遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。」と慰霊の言葉を述べました。

続いて、玉串奉奠が行われ、高橋会長、遺族を代表して門間文一様(潟上市)、来賓の方々が御霊の冥福を祈りました。



全国消防殉職者慰霊祭

(公財) 日本消防協会

第44回全国消防殉職者慰霊祭は、9月11日(木)、日本消防会館(東京都港区)で行われ、秋本敏文日本消防協会会長、石破茂内閣総理大臣、村上誠一郎総務大臣に続き、ご遺族を代表して青木由美様(滋賀県大津市)が追悼のことばを述べました。

本慰霊祭では、昨年、横手市で訓練中に殉職された横手市消防団柴田忠広様他3名が新たに合祀され、殉職者の御霊は、5795柱となりました。



本県の関係者(慰霊碑前で)



御霊の奉納

第9期初任教育学生 殉職消防組員招魂碑を清掃

秋田県消防学校

秋田市千秋公園本丸に建立されている「殉職消防組員招魂碑」の清掃は、毎年、秋田県消防学校初任教育課程の情操教育の一環として行われています。

今年も、9月5日(金)の慰霊祭に先立ち、8月18日(月)53名の学生によって行われました。

初めに、碑内の枯れ葉やゴミを除去したり、雑草などを取り除いたほか、碑に付いたコケなどの汚れを洗い流したあと、全員が招魂碑に黙とうを捧げました。

学生の皆さん、ありがとうございました。



防災キャンプフェスで消防団をPR

2025 AKITA 防災キャンプフェス(主催:秋田魁新報社)が9月27日(土)・28日(日)、日本赤十字東北看護大学グラウンドで開催され、秋田県消防協会がブースを設置して消防団活動のPRを行いました。

若手や女性の消防団員、消防職員がスタッフとなり、「ワクワク消防団体験!」というテーマで、毛布で担架を作ろう体験、水消火器による消火体験などを通じて、親子連れなどに楽しみながら消防団活動に対する理解を深めてもらいました。

隣のブースでは、秋田市消防団が団員募集を行い、4名から入団希望がありました。



火災警報器はどんな音?



パネルクイズに挑戦

この防災フェスは、日本赤十字東北短期大学講師 及川真一氏が進める「災害時の不便な生活を疑似体験し、野外で遊びを通じて様々な対処方法を学ぶこと」を目的としています。会場には、消防車両や警察車両の展示、避難所体験、アウトドアアクッキングやペット防災コーナーなど、幅広い世代が楽しみながら防災を学べる企画が満載で、2日間で約3600人が来場しました。



秋田市消防団
鈴木 重浩
すずき しげひろ

【令和7年8月15日就任】

新消防団長紹介



水消火器で消火するよ



毛布で担架を作ろう



秋 田 県 消防学校

初任教育第79期修了式

55名修了 第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第79期初任教育の修了式が9月18日(木)、同校の屋内訓練場で、修了生の家族や来賓など約180名が出席して行われました。55名の修了生は、6ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、明日から、それぞれの所属消防本部に着任し、消防士として活動することになります。

修了式は、木内英明 学校長が修了生一人一人に修了証書と成績優秀者に表彰状を授与した後、秋田県副知事挨拶、来賓祝辞(小笠原秋田県消防長会副会長・阿部秋田県消防協会副会長)と続き、修了生が答辞を述べ校歌を合唱して終わりました。

表彰状授与

■優 秀 賞 (7名)

秋田市消防本部	南 健太
秋田市消防本部	小野垣 蒼太
秋田市消防本部	須藤 大徳
大館市消防本部	伊藤 祐人
大館市消防本部	高橋 美優
鹿角広域行政組合消防本部	栗山 涼
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	沼倉 颯太

■功 労 賞 (5名)

秋田市消防本部	南 健太
鹿角広域行政組合消防本部	栗山 涼
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	沼倉 颯太
秋田市消防本部	小松 雅弥
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	小松 結子

学校長式辞(要約)



秋田県消防学校
学校長
木内 英明

皆さんがこの半年間、寝食をともし、夢を語り合い、友情を深め、時にはライバルとして切磋琢磨し、時には仲間として励まし合った絆は、これからの消防人生において、大きな財産となるはずです。

皆さんは、明日からそれぞれの所属に戻り、第一線の業務に就きます。これから、多くの厳しく困難な現場が立ちのはだかることと思います。しかし、世代を超えて築かれてきた消防精神を胸に、各々が自分の役割を果たし、仲間と一致協力して立ち向かうことにより、必ずや乗り越えることができるでしょう。

各消防本部、そして地域住民の方々が皆さんの活躍を待ち望んでいます。「人を助けた」「地域の安全を守りたい」「故郷に貢献したい」。

消防を目指した初心を忘れず、半年間積み上げてきた経験と成長を信じてください。地域に寄り添い、住民の信頼に応えられる消防士として、本校卒業生の誇りを胸にその責務を果たしてほしいと思います。

皆さんの今後の活躍を祈念しております。

修了生答辞(要約)



秋田市消防本部
消防士
南 健太

日々の厳しい訓練や法令等の座学は予想以上に大変でしたが、仲間と励まし合いながら頑張り、一人の社会人、消防吏員として大きく成長することができました。

近年、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。そうした中で、私たちは地域住民の安心安全を守り、困っている人を助けたいという強い思いと使命感を忘れず、消防業務に尽力して参ります。

この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。





第79期 初任教

半年間を 振り返って

秋田県消防学校

秋田市消防本部 小松 雅弥

消防学校に入校してから基礎的な部分で覚えることが多く大変だった。練習を重ねるにつれて、上達し成長を実感することができた。時が経つにつれて一日一日が早く感じた。半年で学んだ全てをこれからの現場活動に活かし、市民から信頼される消防職員になりたい。

秋田市消防本部 田口凌之介

半年間、消防士として基礎を学び、様々な訓練に取り組んできました。体力や技術の向上だけでなく、仲間と共に支え合いながら成長する大切さを実感しました。訓練で培った忍耐力や責任感は、今後の職務に必ず役立つと信じています。これからも精進を続け、市民の安全を守るために全力を尽くします。

秋田市消防本部 南 健太

入校から早半年、密度の濃い時間を過ごすことができました。思えば様々な出来事があり一言では表せませんが、79期の一員として初任教を修了することを誇りに思います。

得た知識と経験を糧に、更なる成長につながるよう一日一日を大切に精進していきます。

秋田市消防本部 新堀 文斗

消防学校に入校して半年が経ち、あつという間に卒業を迎えました。この半年間は長いようで短く、とても内容の濃い日々だったと感じます。学んだ知識と技術を活かし、市民の安心と安全を守り、信頼される消防士になれるよう精進していきます。

秋田市消防本部 小林 大空

消防学校に入校してからの半年間は、体力と知識ともに厳しい日々でしたが、仲間と励まし合いながら乗り越え、お互いに大きく成長できました。基本動作や現場対応の重要性を学び、消防士としての責任の重さを実感しました。今後もより成長できるよう努力を続けていきます。

北秋田市消防本部 石垣 優翔

半年間の消防学校では、礼式、ポンプ操法、検索訓練など多くの訓練を仲間と共に乗り越えてきました。悔しさも達成感も分かち合った日々が、今の自分を作っています。この絆と経験を胸に、現場でも胸を張れる消防士になります。

横手市消防本部 佐々木 瑠伊

半年間の消防学校での訓練は厳しくも充実した日々でした。仲間と共に乗り越えた経験を自信に変え、職場に戻った時に周りの仲間の力になれるようにしていきたいです。そして、市民に信頼される消防士を目指して努力を続けていきます。

横手市消防本部 加藤 望花

仲間と苦楽を共にした半年間は、私自身にとつて大変貴重な経験となった。初めての寮生活や、年齢差のある同期との関わり方に悩むこともあった。しかし、訓練等で常にコミュニケーションを取り、多くを学び成長することができた。

鹿角広域消防本部 栗山 涼

半年間の消防学校では、初任教を通じて、公務員としての責任と自覚、そして消防の基礎と規律を学び、仲間と共に心身を鍛えました。この半年間の生活に関わってくれた全ての人に感謝して、今後は現場での経験を積み、地域社会の安全に貢献していきたいです。

大曲仙北広域消防本部 小松 結子

半年間を振り返ると苦しくも楽しい、今まで以上に成長できた半年間だった。初めての人や環境、授業や訓練で分からないことが多く、行き

詰まることもあったが、同期や教官方から支えてもらい食らいつくことができた。同期との日常もとても楽しく、充実した消防学校生活だった。

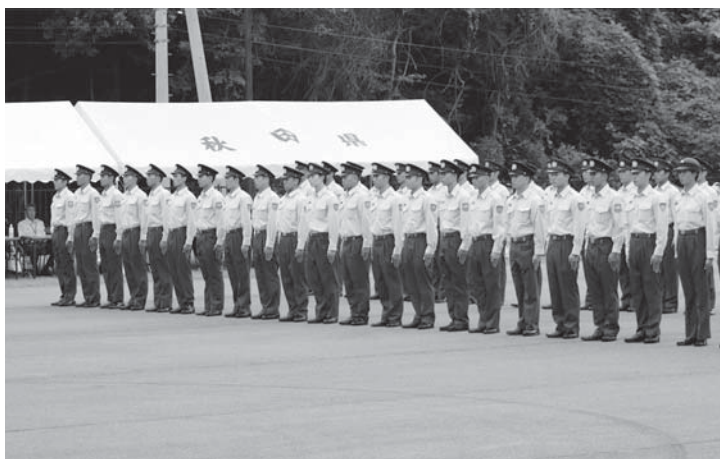
大曲仙北広域消防本部 天川 大和
半年間の厳しい訓練では、体力的にも精神的にも限界を感じる場面が多くありました。仲間と協力し、声を掛け合いながら乗り越えることができました。支え合った日々は大きな財産です。今後はこの経験を活かし、現場で地域の安心安全のために尽力する消防士を目指して努力していきます。

大曲仙北広域消防本部 山内 ころ
消防学校での半年間は、厳しい訓練を仲間とともに乗り越えた充実した半年間だった。命を守るという責任の重さを学び、規律や礼節の大切さを実感した。この経験を活かし、現場でも信頼される消防士として、また女性消防士として人々に安心を与えられるように頑張りたい。

湯沢雄勝広域消防本部 沼倉 颯太
私は、この半年間で、消防士として働く上で土台となる基礎を身に付けることができた。また、副総代として皆の手本となる行動、態度で授業や訓練に臨むことができた。初任

教育を終えたことはゴールではなく、新たなスタートであることを心にとめて、早く一人前の消防士になれるよう頑張る。

湯沢雄勝広域消防本部 佐藤 那樹
半年間の消防学校生活は、厳しさの中にとっても多くの気づきがありました。規律正しい生活で心を磨き、訓練で体を鍛えるとともに現場で様々な状況に対応していく技術や知識を学びました。この経験を糧に、現場で信頼される消防士を目指し、これからも努力を積み重ねていきます。



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバウラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社
株式会社

**能代消防センター
協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防 災 事 業 部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311

支部情報アラカルト

『防災フェア』を開催

大仙仙北美郷支部では、令和7年9月23日(火・祝)、イオンモール大曲にて『防災フェア』を大曲消防署、自衛隊と合同で開催しました。

屋内会場では、AEDや心肺蘇生法体験コーナーや避難所グッズの展示などが行われ、大切な人を守る方法や災害時への備えなどについて学んでもらいました。

このほか、女性消防団員による半纏などのリユース活動で作成したグッズの展示や、消防団員募集チラシの配布も行い、消防団のPR入団促進も行いました。



進も行いました。
また、大仙市消防団音楽隊によるコンサートも行われ、多くの観衆を魅了しました。

同音楽隊は、令和4年4月に結成され、消防団の活性化を図り、音楽を通じて市民の皆様に広く消防団をPRし、防火・防災の啓蒙に努めており、多くのイベントで活動しております。

屋外会場では、消防車両の展示・乗車体験のほか、地震体験車による地震体験、水消火器での放水体験、煙体験ハウスで濃煙内での避難体験が開催され、買い物に訪れた多くの親子連れで賑わい、火災や災害への心構えを学んでもらいました。



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和7年		令和6年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建 物	18	148	9	131	178	9	17
林 野	0	7	0	25	25	0	-18
車 輛	0	21	3	27	31	-3	-6
その他	1	47	7	106	115	-6	-59
合 計	19	223	19	289	349	0	-66
死者数	3	15	2	19	28	1	-4
負傷者数	0	44	3	60	71	-3	-16

〔情報提供〕大仙仙北美郷支部



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営 業 種 目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タ カ ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営 業 種 目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンパイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp